

佐渡市立高千小学校

令和7年度学校だより

令和8年1月13日 No.11

し お か ぜ



丙午のように、活気ある3学期を



校長 後藤 洋子

新年明けましておめでとうございます。2026年丙午、とても明るく活気にあふれる年と言われています。子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとって幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます。昨年度、小松さんが作成された門松を児童玄関に飾っていただきました。ありがとうございました。今年度も、当校に年神様が福を招き入れたことでしょう。

全校朝会で子どもたちに以下のようなお話をしました。

学校の3学期は、今の学年のまとめという学期です。それは、今の学年から次の学年へと進級するからです。そこで一人ひとりがぜひ、自分の「今年の目標」をもって生活するようにしてほしいと思います。

今年の干支は、丙午（ひのえ・うま）です。干支は、十干（じっかん）と十二支を順番に組み合わせて60種類のサイクルを作っています。十干は、自然の要素と陰陽で表されます。丙がその十干に当たります。象徴は太陽、意味は活気です。干支は午、意味は活発です。聞いているだけでも元気になります。今年の干支にあやかって、「今年の目標」を掲げ、取り組んでいきましょう。



3学期はあっという間に終わると感じます。今のクラスの仲間と一緒に過ごすものの授業日数で数えると**52日**です。どのクラスも楽しいクラスだと校長先生は感じています。皆さんに幾つか質問します。あなたが大好きな人を2人、そっと心の中に思い浮かべてください。家族、親戚の人、昔からお世話になっている人、あなたが大好きだと思ふ人なら誰でもいいです。思い浮かべた人の1人について尋ねます。その人の一番すてきなところは「優しくて親切」「力持ち」「物知り」…どれか一つだけ選んでください。もう1人の人についても同じことを尋ねます。逆で聞きます。「物知り」「力持ち」「優しくて親切」…どれか一つだけ選んでください。（優しくて親切、物知りがほぼ同じくらいでした）

最後の質問、あなた自身の素敵なおところは、「優しさ」「力強さ」「物知り」…どれに近いですか。（挙手することなく、自分自身を見つめてもらいました）

1人目の素敵なおところ、2人目の素敵なおところ、そして3人目であるあなた、一人ひとりに違いがあり、それぞれに違うからこそ、お互いに相手のことが気になったり、時には助け合ったりしながら過ごすのが、私たち人間の社会です。

人それぞれの違いを「個性」といいます。クラスの仲間の数が違うように、そこにいる人は多様な個性があり、互いの違いを認め合える素敵なお集団です。各学級には学級目標が掲げられています。自分の目標、学級の目標、共に達成できるよう、3学期のまとめの学期に取り組んでほしいと思います。うまくいかないときは、どうしますか？できない相手や自分を責めますか？責めても前には進めません。やり方や見方を変えて挑戦すればいいのです。そして、6年生と一緒に過ごせるのも3学期の間です。今年の干支にあやかって、明るく、活気のある3学期で乗り切りましょう。

